

ストップ! 感染性胃腸炎

～ウイルスが息をひそめています～

次亜塩素酸ナトリウム液の調製方法(6%含有の市販品を使用した場合)

消毒したいもの	塩素濃度	必要量(キャップ) ※キャップ1杯=約7mL
まな板、ふきん、 生野菜・果実	100ppm	1/2杯
調理器具	200ppm	1杯
おう吐物など	1000ppm	5杯

表の必要量を2リットルのペットボトルに入れて水で薄める



誤って飲んだり調理に使用したりしないようにラベルを貼り、調味料とは区別して管理しましょう。
※栃木県ホームページより抜粋

感染性胃腸炎はウイルスや細菌が原因で引き起こされる胃腸炎の総称です。冬場はウイルスによる感染性胃腸炎が猛威を振るい、特に11月から3月は「ノロウイルス食中毒」が多く報告されています。ノロウイルスは手指や食品などを介して経口で感染し、ヒトの腸管で増殖し、おう吐、下痢、腹痛などを起こします。ノロウイルスは非常に感染力が強く、健康な方は軽症で回復しますが、子どもやお年寄りなどでは重症化したり、

吐物を誤って気道に詰まらせて死亡することがあります。そこでノロウイルス食中毒をはじめ感染性胃腸炎防止について意識を高め予防していきましょう。

ノロウイルスによる食中毒予防の4原則

- ① 持ち込まない
 - ② せつけんによる事前手洗い(2回以上推奨)
 - ③ 健康管理(下痢・嘔吐等体調不良時には食品を取り扱わない)
 - ④ 扱げない
- ・ せつけんによる手洗いの徹底
 - ・ 調理施設のこまめな清掃
 - ・ 調理設備、器具の適切な洗浄、消毒(煮沸、次亜塩素酸ナトリウム)および使い分けの実施
 - ・ トイレの定期的な清掃、消毒
 - ③ 加熱する
 - ・ 食品の中心温度85℃で90秒以上の加熱の徹底
 - ④ つけない
 - ・ せつけんによる手洗いの徹底
 - ・ 使い捨て手袋やマスクの正しい着用(素手で直接食品に触れない)
 - ・ 調理設備、器具の適切な洗浄、消毒の実施
 - ・ 衛生的な作業着の着用
 - ・ 非加熱食品、加熱後の食品の取り扱いに特に注意が必要

「はたちの献血」キャンペーン



冬場から春先にかけては、年間で最も輸血用血液が不足しがちです。

また、少子高齢化により、今、健康で若い皆さんの一層の献血への協力が求められています。新成人の皆さん、「はたちの記念」に献血に行きましょう。

皆さんのご協力をお待ちしています。

▼期間 1月1日(日)～2月28日(火)

▼場所 栃木県赤十字血液センター、うつのみや大通り献血ルーム、各市町の献血会場

※献血バスの予定については、栃木県赤十字血液センターのホームページ(<http://www.jcdbc.jp/>)をご覧ください。

▼対象者 16歳から69歳までの健康な方

子育て相談支援

子育て等に関わる悩み相談を子育て支援センター相談員が行います。常時子育てに関する相談を実施していますが、平日にお出かけできない方などお気軽にご利用ください。

- 日時 1月15日(日) 午前9時30分～午後4時
- 場所 子育て支援センター
- 内容 子育て不安・子どもの発達に関することなど
- 問合せ 子育て支援センター ☎71-1137

※別日のご希望があるときは、ご相談ください。

(65歳以上の献血については、60～64歳の間に献血経験がある方)

- ・ 1980年～96年までの間に通算1カ月(31日)以上のイギリス滞在歴のない方
- ・ 海外から帰国後4週間が経過している方

※詳しくは、お問い合わせください。

▼問合せ

○栃木県赤十字血液センター

☎0286590111

○栃木県保健福祉部業務課

☎0286233119